

羅針盤



進路だより No. 12 平成 29 年 1 月 26 日

◇家庭とクラスをつなぐこの進路だよりは必ず保護者の方にも見せてください。

私立高、公立高前期選抜の出願時期です！

私立高校の出願が一通り終了しつつあります。学校から出願する高校についてはおもに先週の木曜日（19日）の午後に学年の先生で分担して持っていました。また生徒本人が郵送しなければならない高校については、確実に期間内に出願をするようにしてください。

出願をすると「受験票」が返ってくるはずですが、また多くの高校が入試当日の注意事項などが書かれたプリントも配布します。学校から出願した高校について受験票が発行されしだい随時、渡していますので、ぜったいになくさないように、受験当日まで大切に保管してください。郵送や本人による出願の場合は、受験票を受けとった翌日には担任の先生に受験番号を伝えてください。もしもの場合（なくした！ 当日忘れた！ など）に備えて、学校の方で番号を控えておきます。また注意事項のプリントは受験日当日の集合時間や持ち物（持ち込み不可のもの）など重要な情報が書かれているので、必ず熟読をしておくようにしましょう。入学試験問題ばかりに気持ちがいきがちですが、まずはしっかりと当日の自分の動きをシュミレーションしておくことも大切です。時間に遅れたり、必要なものがなければ、焦ってしまって本来の実力がでない場合もあります。勉強以外の部分でも「備えあれば憂いなし」であってほしいと思います。

公立高校の前期選抜を受検する人は学年の約6割です。こちら、今週の水曜日に学年の先生で願書の点検をし、記入漏れや誤記については訂正をしてもらっています。

府立高校を受検する人は学校の方で一括購入した府収入証紙

（受検手数料を支払った証明となるもの）を願書に貼り、そこに印鑑（ハンコ）で押印（割印と言います）する必要があります。来週の火曜日（31日）に一齐に押印をしますので、当日は印鑑を学校に持ってきてください。印鑑は「認め印」（シャチハタは不可、朱肉を使用するもの）でかまいませんが、願書の「保護者氏名」欄に押印している場合はそれと同じ印鑑であることが条件です。印鑑は大切なものですから、必ずお家の方の了解を得て持ってくるようにしてください。

ちなみに市立高校を受検する場合は、こちらも学校から一括して京都市に受検手数料の支払いをしますが、その領収書を願書に貼るだけですので、印鑑をもってきて押印する必要はありません。

公立高校はすべて中学校を通して出願する形になっています。前期選抜は、京都市・乙訓地域の高校については2月2日に一括で出願をします。府下の高校についても3日に中学校から持っていく形で出願をする予定です。「受験票」は出願後、私立高と同じように、本人に渡しますので大切に保管しておいてください。

出願が終われば、あとは本番まで一気に秒読みに入ります。これからの日々、時間的にもできることは限られているかもしれませんが、その中で自分がやらなければならないことに精いっぱい誠実に取り組むことが、『合格を呼びこむ力』になるはずです。

